

平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名  | 番号  | 箇所名    | 市町村名 | 再評価の理由 | 全体事業概要と目的   | 事業進捗状況 |       |       | 事業を巡る社会経済状況等の動向  | 費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等  | 今後の事業の見通し                               |        |
|------|-----|--------|------|--------|---|--------|-------|-------|--|--|---|--------|
|      |     |        |      |        |   | 採択年    | 総事業費  | 進捗率   |  |  |   | 事業進捗内容 |
|      |     |        |      |        |   |        | 工事費   | 進捗率   |  |  |   |        |
| 目標年  | 用地費 | 進捗率    |      |        |   |        |       |       |  |  |   |        |
| 林道事業 | 1   | 三峰局ヶ岳線 | 松阪市  | ③      | <p>【全体事業概要】<br/>利用区域面積 2,464ha<br/>幅員 4.0m<br/>延長 20,700m</p> <p>【事業目的】<br/>高見山地の山腹に広がる広大な森林地帯の中央部を横断する基幹林道として、森林整備の促進を図るとともに、小流域ごとに分断している既設路網を接続し、ネットワーク化して、利用区域内の森林施業の効率化を図ることを目的とする。</p> | H6     | 5,069 | 92.6% | <p>開設延長 19,171m<br/>(進捗率92.6%)</p> <p>・松阪市では、平成23年度を始期とする総合計画を樹立し、林道基盤の整備、担い手の育成、林業経営安定の推進を図ることとし、その実現に向け行政が果たすべき役割として、路網整備をあげている。<br/>・間伐等の森林整備について、森林組合が所有者に森林施業プランを提案して、施業地の集約化を図る「提案型集約化施業」の取り組みが始まっている。</p> | <p>【費用便益分析結果】<br/>B/C=150.5億円/80.9億円=1.86</p> <p>【コスト削減】<br/>地形にあった波形線形の採用や、路肩の縮減等によりコスト削減を図ります。</p> <p>【代替案の可能性】<br/>当路線の利用区域内の森林整備を図るとともに、切り出した木材を効率よく運搬する必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。</p> | <p>コスト削減と環境配慮に努めながら早期完成を目指し事業継続します。</p> |        |
|      |     |        |      |        |   | 5      | 5,069 | 92.6% |  |  |   |        |
|      |     |        |      |        |   | H30    | —     | —     |  |  |   |        |

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名  | 番号  | 箇所名  | 市町名     | 再評価の理由 | 全体事業概要と目的  | 事業進捗状況 |       |       | 事業を進捗内容   | 事業を巡る社会経済状況等の動向   | 費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等             | 今後の事業の見通し |
|------|-----|------|---------|--------|--|--------|-------|-------|---|---|---|-----------|
|      |     |      |         |        |  | 採択年    | 総事業費  | 進捗率   |   |   |   |           |
|      |     |      |         |        |  |        | 工事費   | 進捗率   |   |   |   |           |
| 目標年  | 用地費 | 進捗率  |         |        |  |        |       |       |   |   |   |           |
| 林道事業 | 2   | 野又越線 | 大台町・紀北町 | ③      | <p>【全体事業概要】<br/>利用区域面積 1,381ha<br/>幅員 5.0m<br/>延長 15,621m<br/>総事業費 6,560百万円</p> <p>【事業目的】<br/>大台町、紀北町両町の基幹的な林道として、地域の森林整備を促進する。併せて、古くから文化的な交流があった両地域を連絡する生活道として、海と山の資源を活かした交流を通じて地域活動を促進し、両地域の振興を図ることを目的とする。</p> | H3     | 3,822 | 58.0% | <p>開設延長 12,709m<br/>(進捗率81%)</p> <p>・大台町では、平成24年度に第1次大台町総合計画後期基本計画を樹立し、「木材生産推進のための基盤整備」、「素材生産、加工、販売まで木材の一体的流通体制の構築」、「木材利用の普及啓発」、「特用林産物の生産など複合経営の検討」、「林業経営に対する社会的意識の高揚」、「森林立地評価を導入した森林経営の推進」を施策とし、森林、林業振興に取り組んでいます。</p> <p>・紀北町では、平成24年3月に紀北町第1次総合計画後期基本計画を樹立し、「森林施業の効率化の推進」、「計画的な間伐、保育の促進」、「林業集約化など経営合理化の推進」、「新規就労者の確保の推進」、「地元材の普及の推進」などを施策とし、林業の振興に取り組んでいます。</p> <p>・平成23年9月の紀伊半島大水害により、大台町、紀北町ともに甚大な被害を受けました。また、近年の災害の発生によって、保水力や土砂の流出防止機能等の森林の働きの重要性が認識され、「災害に強い森林づくり」を進める必要が生じています。</p> | <p>【費用便益分析結果】<br/>B/C=106.2億円/85.9億円=1.24</p> <p>【コスト削減】<br/>地形にあった波形線形の採用や、路肩の縮減、またコンクリート擁壁に替えて補強土壁工を積極的に活用し、土工量及び法面保護工を削減しコスト削減を図ります。</p> <p>【代替案の可能性】<br/>当路線の利用区域内の森林整備を図り、両町を連絡する必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はありません。</p> | <p>コスト削減と環境配慮に努めながら早期完成を目指し事業継続します。</p> |           |
|      |     |      |         |        |  | S      | 3,822 | 58.0% |   |   |   |           |
|      |     |      |         |        |  | H31    | -     | -     |   |   |   |           |

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

## 平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名  | 番号 | 箇所名   | 市町村名     | 再評価理由 | 全体事業概要と目的  | 事業進捗状況 |       |       | 事業を巡る社会経済状況等の動向   | 費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等  | 今後の事業の見通し                   |        |
|------|----|-------|----------|-------|--|--------|-------|-------|---|--|-----------------------------|--------|
|      |    |       |          |       |  | 採択年    | 総事業費  | 進捗率   |   |  |                             | 事業進捗内容 |
|      |    |       |          |       |  |        | 工事費   | 進捗率   |   |  |                             |        |
|      |    |       |          |       |  | 目標年    | 用地費   | 進捗率   |   |  |                             |        |
| 林道事業 | 3  | 木屋村山線 | 大紀町、南伊勢町 | ③     | 【全体事業概要】<br>利用区域面積 343.5ha<br>幅員 4.0m<br>延長 10,086m  | H15    | 1,657 | 81.0% | 開設延長 6,755m<br>(進捗率67.0%)<br><br>・平成17年2月に大宮町、紀勢町、大内山村が合併して大紀町に、平成17年4月に南勢町、南島町が合併し南伊勢町となりました。<br>・県道等の周辺道路の整備が進んでいます。<br>・平成21年2月に紀勢自動車道大宮大台ICから紀勢大内山ICまで開通し、さらに、平成25年3月に紀伊長島ICまで開通しました。 | 【費用便益分析結果】<br>B/C=36.9億円/18.0億円=2.05<br><br>【コスト削減】<br>地形にあった波形線形の採用や、コンクリート擁壁工に替えて補強土壁工を積極的に活用し土工量の低減及び、路肩の縮減等によりコスト削減を図ります。<br><br>【代替案の可能性】<br>当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はありません。 | コスト削減に努めながら早期完成を目指し事業継続します。 |        |
|      |    |       |          |       | 5  | 1,657  | 81.0% |       |   |  |                             |        |
|      |    |       |          |       | H29  | —      | —     |       |   |  |                             |        |
|      |    |       |          |       | 【事業目的】<br>戦後に一斉植林されたスギ・ヒノキの人工造林と、薪炭材跡地(2次林)の森林を効率良く整備し、森林資源の活用促進を図るとともに、森林の持つ公益的機能の早期発揮を目的とする。 |        |       |       |   |  |                             |        |

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名  | 番号  | 箇所名   | 市町名 | 再評価理由 | 全体事業概要と目的   | 事業進捗状況 |       |       | 事業を巡る社会経済状況等の動向  | 費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等   | 今後の事業の見通し                               |        |
|------|-----|-------|-----|-------|---|--------|-------|-------|--|---|---|--------|
|      |     |       |     |       |   | 採択年    | 総事業費  | 進捗率   |  |   |   | 事業進捗内容 |
|      |     |       |     |       |   |        | 工事費   | 進捗率   |  |   |   |        |
| 目標年  | 用地費 | 進捗率   |     |       |   |        |       |       |  |   |   |        |
| 林道事業 | 4   | 三和片川線 | 熊野市 | ③     | <p>【全体事業概要】<br/>利用区域面積 2,496ha<br/>幅員 5.0m<br/>延長 32,260m</p> <p>【事業目的】<br/>路網が未整備な熊野市紀和町南東部の広大な森林における骨格となる林道として、森林の適正管理と森林資源の有効利用を図るとともに、布引の滝など森林や自然を活かした観光資源へのアクセス道路として地域振興を図ることを目的とする。</p> | S49    | 7,635 | 74.0% | <p>開設延長 24,099m<br/>(進捗率74.7%)</p> <p>・熊野市は、平成17年11月1日に熊野市と紀和町の合併により誕生した。<br/>・熊野市では、平成20年度を始期とする総合計画を樹立し、木材流通の拡大を目標に掲げ、その実現のために行政が果たすべき役割として、林道、作業道の整備をあげている。<br/>・熊野原木市場における素材の取扱量及びスギ・ヒノキの平均価格を平成19年度と平成23年度で比較すると、取扱量で約8%、ヒノキの平均価格で約26%減少している。<br/>・平成24年4月に広域合併した三重くまの森林組合が、地域林業の中核的担い手として、行政機関や関係業界などと一体となって、地域の森林整備と保全を進めている。<br/>・熊野市は、市が管理する森林に対して平成24年5月にフォレストック認定を取得し、森林オフセットクレジットを関連企業に販売することで得られる資金をもとに森林整備を実施している。</p> | <p>【費用便益分析結果】<br/>B/C=125.5億円/122.8億円=1.02</p> <p>【コスト削減】<br/>地形にあった波形線形の採用や、コンクリート擁壁工に替えて補強土壁工を積極的に活用し土工量の低減及び、路肩の縮減等によりコスト削減を図ります。</p> <p>【代替案の可能性】<br/>当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。</p> | <p>コスト削減と環境配慮に努めながら早期完成を目指し事業継続します。</p> |        |
|      |     |       |     |       |   | S      | 7,635 | 74.0% |  |   |   |        |
|      |     |       |     |       |   | H39    | —     | —     |  |   |   |        |

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

平成25年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名      | 番号  | 箇所名  | 市町名 | 全体事業概要と目的   | 採択年度 | 完了年度  |   | 事業の効果   | 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化   | 事業を巡る社会経済情勢等の変化  | 県民の意見   | 今後の課題 |
|----------|-----|------|-----|---|------|-------|---|---|--|--|---|-------|
|          |     |      |     |   |      | 総事業費  | 総事業費  |   |  |  |   |       |
|          |     |      |     |   |      | 前回    | 前回  |   |  |  |   |       |
| 広域漁港整備事業 | 501 | 波切地区 | 志摩市 | <p><b>【全体事業概要】</b></p> <p>防波堤 (L=353.0m)<br/>突堤 (L=440.0m)<br/>耐震岸壁 (L=75.5m)<br/>浚渫 (A=469.0㎡)<br/>道路 (L=247.7m)<br/>用地 (1式)<br/>防暑雨雪施設(L=65.0m)</p> | H19  | 2,561 | <p>■ 費用便益比<br/>・B/C=1.12</p> <p>■ その他の効果<br/>耐震強化岸壁の整備により、地震・津波発生など有事の際は緊急物資の輸送拠点となります。</p> | <p>■ 景観への配慮<br/>波切漁港では、大正7年に『波切の石工』により施工された石積護岸が残されています。漁港整備においては、石積護岸を保護するよう進めてきました。この景観は「未来に残したい漁港漁村の歴史文化財百選(2006年:水産庁)」に選ばれています。</p> | <p>■ 震災への備え<br/>近年発生が危惧されている南海トラフを震源とした巨大地震に備え、地域の緊急物資輸送拠点となるような耐震強化対策が必要となりました。</p> <p>■ 志摩市景観計画の制定<br/>平成16年に制定された景観法に基づき、志摩市の持つ自然、歴史、文化等から見てふさわしい良好な景観の形成を図るため、志摩市景観計画が平成25年10月1日に施行され、波切漁港は重点候補地区に選定されました。</p> | <p>■ アンケート調査結果<br/>波切漁港を利用する漁業者40名(配布数87名)から回答があり、主な意見は<br/>・漁港が整備され荒天時に自港で避難できるため、楽になった。<br/>・大きな台風が襲来しても漁船を安心して係留できる。<br/>・西突堤を延長したことで入出港時に危険度が増した。<br/>などの意見がありました。</p> | <p>■ 防災対策<br/>震災等有事の際に、水産業の早期再開を行うための拠点漁港が必要となります。このため73ある漁港の中から拠点漁港を選定し、水産業の早期再開や、海上輸送を確保するため、県内で最初に整備した波切漁港と同じように、耐震強化岸壁等の整備を図ります。</p> <p>■ 漁港の整備<br/>県内の漁港については、防災対策以外の大規模な整備は完了したと考えています。しかし、県内73漁港の中には、整備から年月が経過し、老朽化等の問題がでてきています。このため、既存施設を健全な状態で維持できるよう、施設の補修を行い、適切な維持管理に努めてまいります。</p> |       |
|          |     |      |     |   |      |       |   |   |  |  |   | H20   |